

# 第22回群馬地域リハ研究会

日時 : 令和7年2月15日(土)14:00 ~ 15:55(受付開始13:30)

会場 : 群馬大学昭和キャンパス西棟3階大講義室(前橋市昭和町3-39-22)  
詳細は次頁をご覧ください

単位 : 日本理学療法士協会:登録理学療法士 区分2チーム医療・多職種連携 1.5ポイント  
日本作業療法士協会:基礎研修ポイント自由選択1ポイント  
日本言語聴覚士協会:生涯学習プログラム1ポイント

参加費  
無料

## 【プログラム】

挨拶 14:00~14:05

講演 14:05~15:35

### 「地域で活動するリハビリテーション関連職種に求めること～看護の立場から～」

高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 教授 梅原里実先生

皆さまは、2022年に厚生労働省が発表した「介護が必要になった原因」の第1位をご存じでしょうか？  
答えは認知症です。また、認知症は転倒の危険因子でもあります。認知症の症状に起因した転倒・骨折により要介護状態が悪化することも少なくありません。さらに、認知症施策推進大綱と、共生社会の実現を推進するための認知症基本法では、地域における認知症との共生に向けた取り組みについて言及されています。これらの背景から、地域で活動するリハビリテーション専門職には、認知症に関する知識を深めることが求められます。そして、知識を深めるだけでなく、その知識を活用して、地域で実践できるようにすることが重要です。一方、認知症専門医や認知症看護認定看護師などと比較して、認知症を専門とするリハビリテーション専門職は少ない印象があります。これらの専門職と認知症に関する知識の差が生じると、円滑な多職種連携に支障をきたすことが懸念されます。

そこで、認知症看護認定看護師や転倒予防指導士の教育に長く携わられてきた、高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科教授の梅原里実先生をお招きして、看護師の立場から地域で活動するリハビリテーション専門職に求めることを提言していただきます。

15:35~15:55 「今後の群馬県の災害リハビリテーションについて」

群馬県地域リハビリテーション支援センター長 山路雄彦

終了 15:55

## 参加申込方法

申込みフォーム

<https://www.grsc.biz/entry.php>

よりお申込みください。



お申込期限:令和7年2月11日まで(定員に達するまで)

※TEL/FAX/e-mail でのお申込みは承っておりません。

お問い合わせ

<https://www.grsc.biz/>

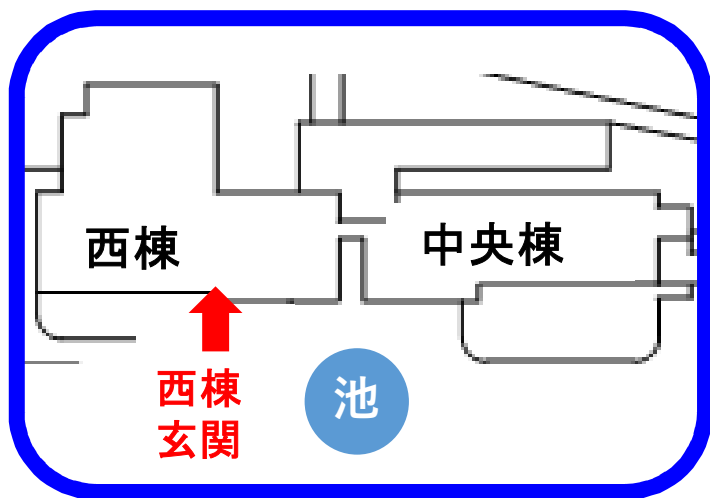


群馬県地域リハビリテーション支援センター

TEL&FAX 027-220-8966

e-mail [tsunoday@gunma-u.ac.jp](mailto:tsunoday@gunma-u.ac.jp)

主催 群馬県POS連絡協議会 群馬県地域リハビリテーション支援センター  
共催 群馬県 群馬大学保健学研究科



### 【会場案内】

(前橋市昭和町3-39-22)  
 群馬大学昭和キャンパス西棟3階大講義室  
 西棟玄関よりお入り下さい  
 →階段またはエレベーターで3階へ  
 →大講義室へお越しください。

### 【駐車場案内】

群馬大学駐車場をご利用の方は、研究会会場受付で駐車券を認証機へ通していただくと、駐車料金の上限額は200円となります。(無料にはなりません。)

## 群馬大学昭和キャンパス

